TOSHIBA
Leading Innovation >>>

3 映像と音楽を楽しもう

CD/DVD/HD DVDの使いかた

dynabook

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。本書は次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

⚠警 告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
＊＊＊＊のみ	一部のモデルにのみ該当する操作を示します。 「＊＊＊＊」には、「用語について」で定義されたシリーズ名、モデル名が入ります。
▼＊＊＊＊のみ ▲＊＊＊＊のみ	一部のモデルにのみ該当する記述の範囲を示します。 「＊＊＊＊」には、「用語について」で定義されたシリーズ名、モデル名が入ります。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「　」 他のマニュアルへの参照の場合…『　』 おたすけナビなどへの参照の場合…《　》 《おたすけナビ（さくいん）：XXXX》と書いている場合、「おたすけナビ」の［使いこなしガイド］→［パソコンの設定］にある「さくいん」で「XXXX」項目を参照できます。 おたすけナビにはさまざまな情報が記載されています。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

Windows Vista

Windows Vista® Home Premium または Windows Vista® Home Basic を示します。

おたすけナビ

パソコン上で見ることのできる、電子マニュアルを示します。デスクトップ上の［おたすけナビ］アイコンをダブルクリックして起動します。

ドライブ

HD DVD-ROMドライブまたはDVDスーパーマルチドライブを示します。

参照 詳細について『いろいろな機能を使おう 1章 4 CDやDVD、HD DVDを使う』

HD DVD-ROMドライブモデル

HD DVD-ROMドライブが内蔵されているモデルを示します。

DVDスーパーマルチドライブモデル

DVDスーパーマルチドライブが内蔵されているモデルを示します。

Premiumモデル

Windows Vista® Home Premium が搭載されているモデルを示します。

Basicモデル

Windows Vista® Home Basic が搭載されているモデルを示します。

ご購入のモデルの仕様については、別紙の『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクや付属のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは、一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

4 Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- BeatJamは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- BeatJamは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- UleadおよびUleadロゴ、DVD MovieWriterはCorel Corporationまたはその関連会社の商標または登録商標です。
- Corel Paint Shop Pro Photo、Snapfire、Corelの商品名およびロゴは、Corel Corporationまたはその関連会社の商標または登録商標です。
- Napster、Napster To Go、Napster Basic、Napster a la carteは、Napster, LLCの商標です。
- メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは商標です。
- xD-ピクチャーカード™は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
- おたすけナビは、株式会社東芝の商標です。
- HD DVDロゴはDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 バックアップについて

ハードディスクや外部記憶メディアに保存しているデータは、万一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップをとって保存してください。
ハードディスクや外部記憶メディアに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いません。
バックアップについて、詳しくは『準備しよう 4章 大切なデータを失わないために』を参照してください。

6 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。
必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

① ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

8 ワイド画面における画面の引き伸ばしについて

1. 本製品は、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご注意の上、画面モードをお選びください。
2. 本製品を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切り換え機能等を利用して、画面の引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

9 お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本書に記載している各お問い合わせ先は、2007年7月現在の情報です。各社の事情で受付時間などが変更になることがあります。

10 ［ユーザー アカウント制御］画面について

操作の途中で［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、［続行］または［許可］ボタンをクリックしてください。
パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

11 アプリケーションの起動について

本書では、アプリケーションの起動手順の記載を簡略化して次のように記載しています。

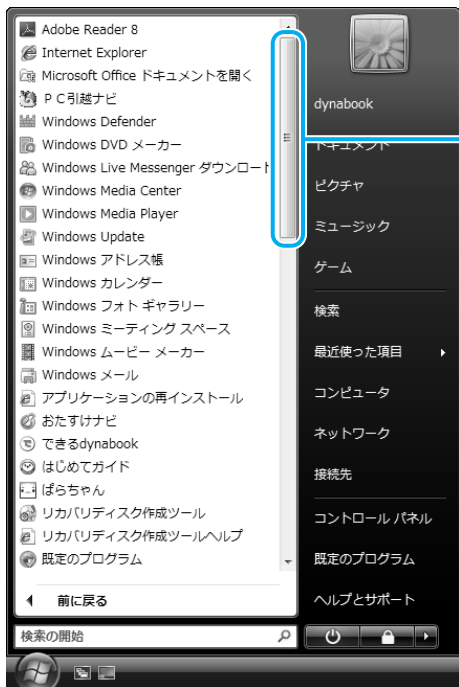
❏「メモ帳」を起動する場合の例

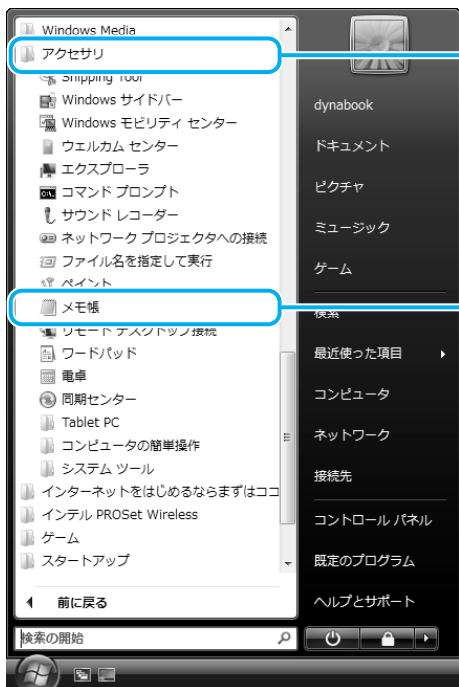
1 ［スタート］ボタン（）→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［メモ帳］をクリックする

この手順は、次のような操作を表しています。参考にして操作してください。

■Premiumモデルの場合

■Basicモデルの場合

［スタート］メニューの左側の部分が［すべてのプログラム］の一覧に切り替わります。

③スクロールバーをドラッグし、起動するアプリケーションを探す

スクロールバーをドラッグすると、［すべてのプログラム］の一覧がスクロールされます。目的のアプリケーションを探してください。左側のアイコンがフォルダ（ ）の場合は、クリックするとフォルダ内の一覧が開きます。

④［アクセサリ］をクリック

⑤［メモ帳］をクリック

「メモ帳」が起動します。

1 DVD／HD DVDの映画や映像を見る

本製品では、モデルによってHD DVDやDVD-Videoの再生ができます。
HD DVDは、HD DVD-ROMドライブモデルでのみ再生できます。

HD DVDとは？

HD DVDについて説明します。
「7 ご使用にあたってのお願い」もあわせてお読みください。

DVDフォーラムが承認した次世代DVDディスクです。

HD DVDとは、世界の230社以上が加盟するDVD規格の世界標準団体「DVDフォーラム」が承認した次世代DVDディスクのことで、HD（ハイビジョン）クオリティの高画質性能を備えています。HD DVDの再生専用ディスクであるHD DVD-ROM（片面）には、片面2層30GB（ギガバイト）と片面1層15GBの2種類があります。これによって、映画1本分の映像がHD DVDディスク1枚に収めることができます。

ハリウッドの期待にも応える高画質メディアです。

高画質で長時間記録ができるHD DVDは、より美しく付加価値のあるパッケージコンテンツ制作を目指すハリウッドからの様々なニーズにも対応。HDクオリティで制作された映画コンテンツなどがHD DVDパッケージで提供されることで、家庭でも映画館のスクリーンと同じように、迫力ある美しい映像を楽しむことができるようになります。

より高画質なコンテンツを楽しむことができます。

HD DVDの特長は、大容量での高密度記録を活かした、高画質の映画やライブなどのパッケージコンテンツを楽しめることです。リアルで臨場感あふれる映像エンターテイメントを体感できます。

現行DVDが再生できるHD DVDドライブだから、お手持ちのDVD、CDライブラリを楽しむこともできます。

HD DVDと現行DVDのどちらも再生することができます。これにより、録りためたDVDライブラリやDVDソフト、さらには音楽CDも、HD DVDドライブで再生して楽しむことができます。

DVD／HD DVDの再生にあたって

Windows上でDVD／HD DVDを再生するには、次のアプリケーションを使います。

- HD DVD-ROMドライブモデルの場合　：TOSHIBA（トウシバ） HD（エイチディーディーブイディー） DVD PLAYER（プレーヤ）
- DVDスーパーマルチドライブモデルの場合：TOSHIBA（トウシバ） DVD（ディーブイディー） PLAYER（プレーヤ）

用語について

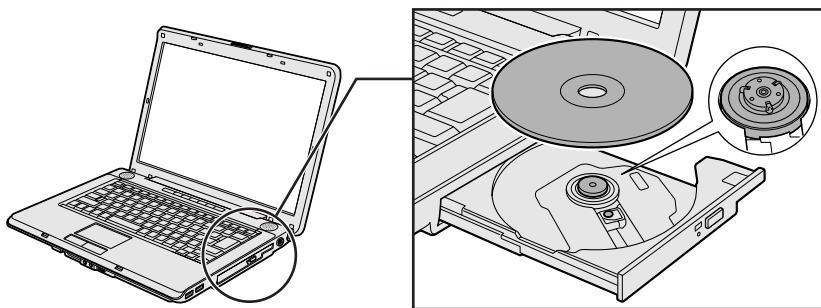
本節では、「DVD」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、「HD DVD」または「DVD-Video」を示します。
また「TOSHIBA DVD PLAYER」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」または「TOSHIBA DVD PLAYER」を示します。

メモ

- Windows上でDVDを再生する場合、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。
「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用してHD DVDビデオディスク、HD DVD-R（HDVRモード）ディスクまたはDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。

1 TOSHIBA DVD PLAYERで見る

ここでは、「TOSHIBA DVD PLAYER」でDVDの映像を見る方法を説明します。
「TOSHIBA DVD PLAYER」を使う前に、「7 ご使用にあたってのお願い」をよくお読みください。

1 Windowsが起動している状態で、ドライブにDVDをセットする

2 ［HD DVDムービーの再生］または［DVDムービーの再生 - TOSHIBA DVD PLAYER使用］をクリックする

［DVDムービーに対しては常に次の動作を行う］にチェックがついている状態で、手順 2 の操作をすると、次回以降はDVDをセットすると自動的に「TOSHIBA DVD PLAYER」が起動します。

■HD DVDの場合

（表示例）

■DVD-Videoの場合

（表示例）

「TOSHIBA DVD PLAYER」が起動します。

詳細は、「TOSHIBA DVD PLAYER」のヘルプ、または《おたすけナビ》を参照してください。

メモ

- 「TOSHIBA DVD PLAYER」が起動しなかった場合は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA DVD PLAYER］→［TOSHIBA DVD PLAYER］をクリックしてください。

「TOSHIBA HD DVD PLAYER」「TOSHIBA DVD PLAYER」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口受付時間：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

2 映像を編集してDVDに残す

デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集し、DVDに残すことができます。
＊HD DVDへ書き込むことはできません。

1 DVDを作成する準備

映像を編集してDVDに残すには、「DVD MovieWriter」を使います。

DVDを用意する

「DVD MovieWriter」がサポートしているメディアとフォーマットを参考に、書き込み可能なDVDメディアを用意してください。なお、推奨するメーカのメディアを使用してください。

参照 推奨するメーカ『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』

❏ フォーマット

フォーマットとは、映像を書き込むときの記録形式のことです。フォーマットによって、作成したDVDを再生できる機器が異なります。それぞれ次の特徴があります。

■DVD-Videoフォーマット

もっとも一般的なDVD形式です。ほとんどの家庭用DVDビデオレコーダやパソコンと再生互換があります。DVDメニューの作成を行うことができます。

■-VRフォーマット

再編集可能なDVDを作成します。一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できない場合があります。DVDメニューを作成することはできません。

■+VRフォーマット

再編集可能なDVDを作成します。DVD+VRに対応した家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでのみ再生できます。DVDメニューを作成することができます。

メモ

- DVDメニューとは、DVDをセットしたときに表示されるタイトル画面のことです。

「DVD MovieWriter」がサポートしているメディアとフォーマットは、次のとおりです。

○：使用できる　×：使用できない

	DVD-R＊1	DVD-RW	DVD+R＊2	DVD+RW	DVD-RAM
DVD-Videoフォーマット	○	○	○	○	×
-VRフォーマット	×	○	×	×	○
+VRフォーマット	×	×	×	○	×

＊1　DVD-R DLを含みます。
＊2　DVD+R DLを含みます。

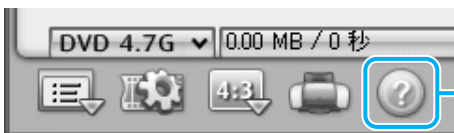
操作の流れ

操作は次の流れで行います。

メモ

- 映像を編集する前に、「7 - 5 「DVD MovieWriter」の使用にあたって」をよくお読みください。
- 操作中にユーザ登録をおすすめする画面が表示される場合があります。この方法でユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。ユーザ登録を行う場合は、［今すぐ登録］ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。後でユーザ登録を行う場合は、［後で登録］ボタンをクリックしてください。

ヘルプの起動方法

「DVD MovieWriter」についての詳細は、ヘルプを確認してください。メイン画面左下に起動するボタンがあります。

2 映像ファイルをDVDにする

ここでは、あらかじめファイルにしておいたビデオ映像などをDVDに書き込む方法を説明します。

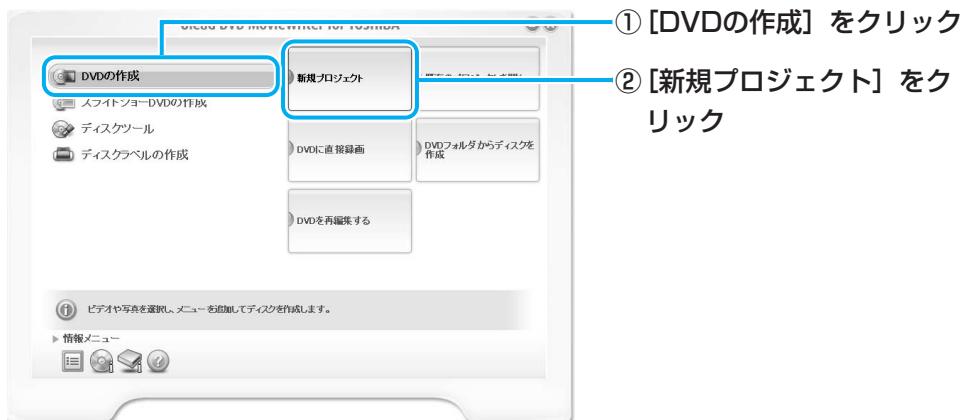
1 DVDにする映像ファイル（ビデオ映像のファイルなど）を用意する

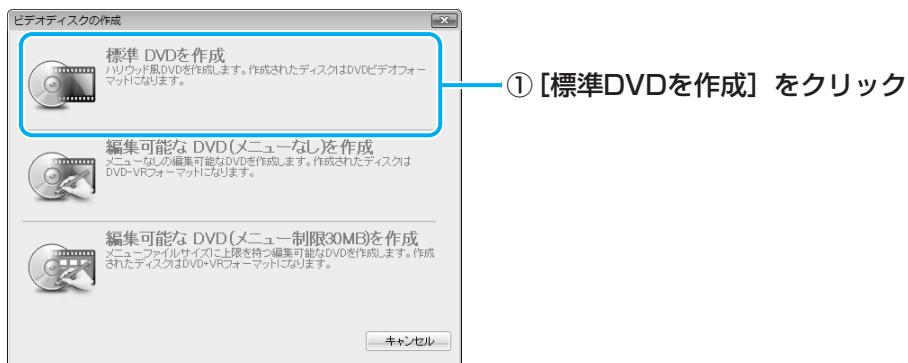
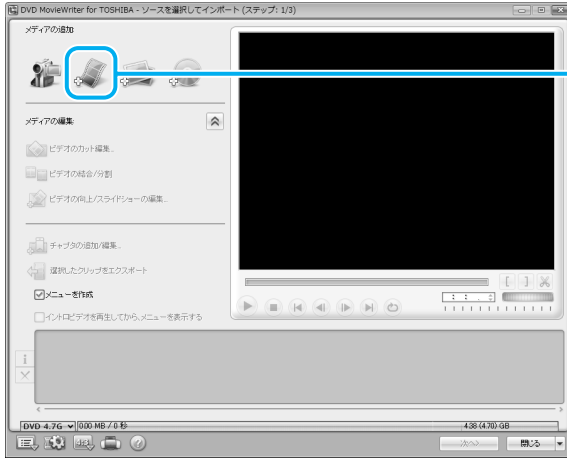
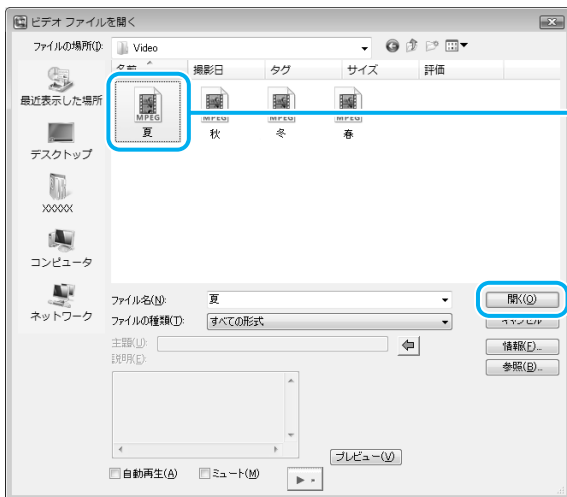
あらかじめ映像ファイルを用意しておきます。
デジタルビデオカメラで撮影した映像を編集したい場合は、「本節 3 デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」を参照してください。

映像ファイルを取り込む

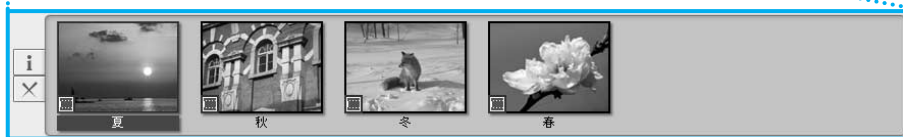
2 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［DVD MovieWriter for TOSHIBA］→［Ulead DVD MovieWriter for TOSHIBA Launcher］をクリックする

「DVD MovieWriter」が起動します。

3 やりたいことを選択する

4 作成したいDVDのタイプを選択する

ここでは、もっとも一般的なDVD形式であるDVD-Videoフォーマットで作成できる［標準DVDを作成］を選択した場合を例にして説明します。

5 編集したい映像ファイルを選択する

複数のファイルを取り込む場合は、手順 5 を繰り返し行ってください。

6 映像ファイルが取り込まれる

［ソースを選択してインポート（ステップ：1/3）］画面に戻り、画面下部の「メディアリスト」に編集したい映像ファイルが追加されます。

「メディアリスト」に表示される画面の1つ1つが、DVDのメニューに表示されるタイトルになります。

メモ

- 映像用DVDはタイトル、チャプタが一部を除いて、設定されています。
  DVD再生時に、各タイトルやチャプタから再生できます。

DVDのタイトルとチャプタの構造（例）

DVD（メディア）
　-タイトル1
　　-チャプタ1
　　-チャプタ2
　-タイトル2
　　-チャプタ1…

役立つ操作集

映像ファイルを取り込む

「メディアの追加」に用意されている各ボタンをクリックすると、映像ファイルを取り込むことができます。

［ビデオ装置からビデオをキャプチャ］
デジタルビデオカメラから映像を取り込みます。

［ビデオファイルを追加］
あらかじめ本製品に取り込んである映像ファイル（ビデオ映像のファイルなど）をメディアリストに追加します。
＊一部サポートしていないファイルもあります。

［スライドショーを作成］
複数の画像などをスライドショーに加工して取り込みます。

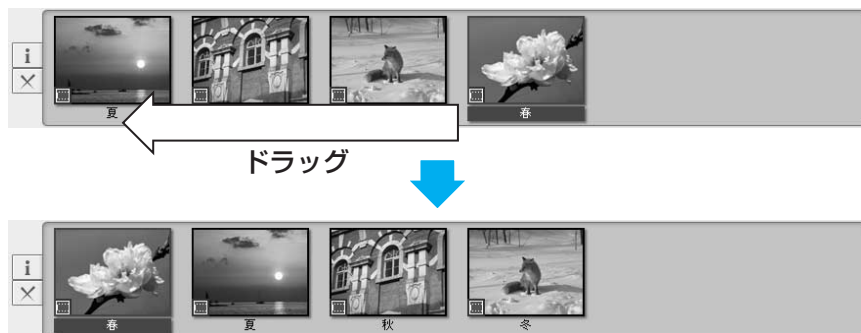
［ディスクやハードドライブからDVD-VideoまたはDVD-VRファイルをインポート］
「DVD MovieWriter」で作成したDVDから映像を取り込みます。
タイトルやチャプタを選択して、取り込むこともできます。

参照 デジタルビデオカメラから映像を取り込む方法
「本節 3 デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」

次は、編集を行います。

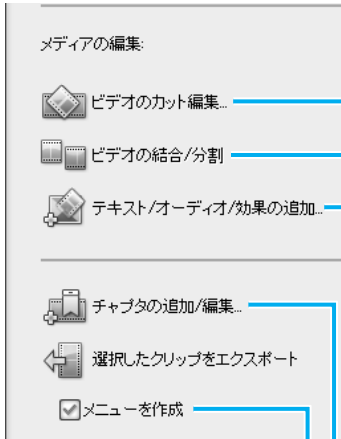
映像ファイルを編集する

7 クリップを並び替える

「メディアリスト」の映像ファイル（タイトル）が複数ある場合、左から順に再生されます。複数の映像ファイル（タイトル）を再生させたい順に並べ替えたい場合の手順を説明します。

次は、DVDのメニュー画面を作成します。

役立つ操作集

映像ファイルを加工する

取り込んだファイルの編集や加工には、「メディアの編集」のアイコンを使用します。

[ビデオのカット編集]
CMなど、映像の不要な部分を削除する場合に使用します。

[ビデオの結合/分割]
結合は、選択している2つ以上の取り込んだファイルを、1つのファイル（タイトル）に結合します。
分割は、結合したファイル（タイトル）を元に戻します。

[テキスト/オーディオ/効果の追加]
選択したファイルにタイトルを入れたり、マイク（市販）を使用して、音声を追加したりできます。

[チャプタの追加/編集]
選択した映像ファイル（タイトル）内にチャプタを設定することができます。

[メニューを作成]
チェックを付けると、DVDメニュー画面を作成することができます。

DVDメニューを作成する

8 DVDメニューを作成する

① [次へ] をクリック

[メニューを選択（ステップ：2/3)] 画面が表示されます。
ここではあらかじめ用意されているDVDメニューを使います。

メモ

- DVDメニューの作成では、ここで説明している内容以外にも、次のような加工ができます。
  - ・音楽の追加
  - ・タイトルの追加
  - ・エフェクトの編集
  - ・DVDメニューの背景画像、文字入力やボタンの変更

  これらについての詳細は、「DVD MovieWriter」のヘルプを確認してください。

9 プレビュー画面で動作を確認する

DVDメニューの動作を確認することができます。

① [プレビュー] をクリック

作成したDVDメニューを確認できる画面に切り替わります。

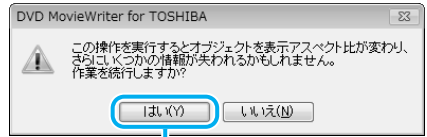
② リモコンのボタンをクリックし、動作を確認する

③ クリックしてメニュー作成画面に戻る

役立つ操作集

画面サイズを切り替える

購入時は4:3の画面サイズ用に作成する設定になっていますが、ワイド画面にも対応した設定に切り替えることができます。

確認画面が表示されます。

ワイド画面に対応した表示に切り替わります。

編集途中のデータを保存する

データの編集からDVDへの書き込みを一度に行うと、時間がかかります。DVDへの書き込みは中断することができませんが、編集中のデータを保存して、あとから再開することはできます。

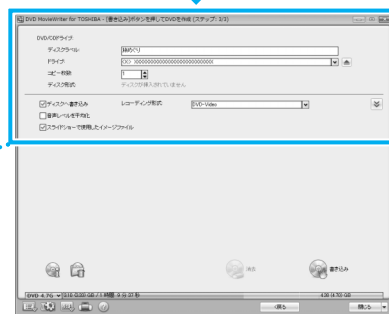
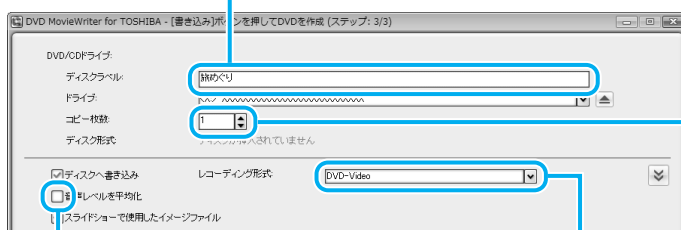
保存したデータを「プロジェクトファイル」と呼びます。
データの編集を再開するときは次の手順でプロジェクトファイルを呼び出します。

① [スタート] ボタン（ ）→ [すべてのプログラム] → [DVD MovieWriter for TOSHIBA] → [Ulead DVD MovieWriter for TOSHIBA Launcher] をクリックする
② [DVDの作成] → [既存のプロジェクトを開く] をクリックする
③ ファイルを選択し、[OK] ボタンをクリックする

これで、編集したい映像を1つにまとめ、DVDメニューを作ることができました。
次は、DVDに書き込みます。

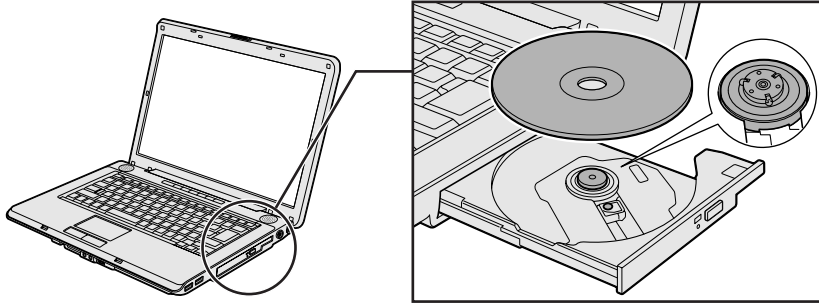
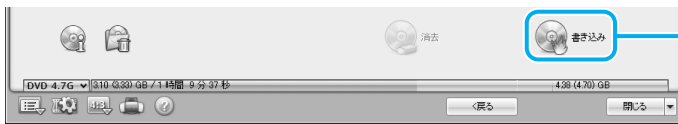
DVDに書き込む

10 書き込むディスクを設定する

［［書き込み］ボタンを押してDVDを作成（ステップ：3/3)］画面が表示されます。

参照 レコーディング形式「本節 1 - DVDを用意する」

メモ

- DVDまたはハードディスクに書き出す前に、「7 - 4 CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」をよくお読みください。

11 ドライブにDVDをセットする

12 DVDに書き込む

① [書き込み] をクリック

メモ

- 映像の書き込みには時間がかかる場合があります。

役立つ操作集

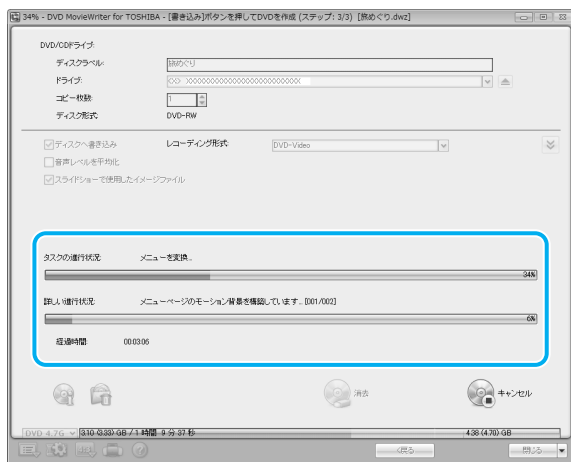
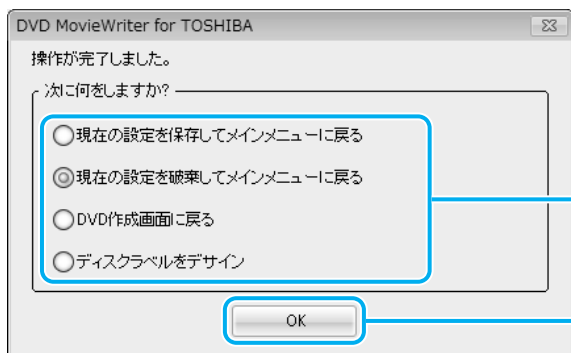
映像ファイルの長さを確認する

画面下部のメーターの色で、映像ファイルの長さがわかります。緑色の部分は1枚のDVDに保存できますが、黄色や赤色の部分は、1枚のDVDの容量を超えています。映像ファイルを2枚のDVDにするか、いらない部分を削除してください。

また、メーターが超えている場合でも、映像の品質が落ちますが、長時間の映像ファイルを1枚のDVDに書き込むことが可能です（DVDピッタリ記録）。［書き込み］をクリックして、右のメッセージが表示されたときに［はい］をクリックしてください。

条件によりDVDに書き込めない場合もあります。書き込める条件の目安は、4.7GBのDVDの場合、DVD-EP（拡張再生）で録画した240分以下の映像ファイルです。

DVDの書き込みが始まります。

書き込みを開始すると画面に［タスクの進行状況］と［詳しい進行状況］が表示されます。

DVDの書き込みが終了すると、メッセージが表示されます。

DVDの書き込みが終了し、ディスクが半分くらい出てきます。

■②で［現在の設定を保存してメインメニューに戻る］を選択した場合

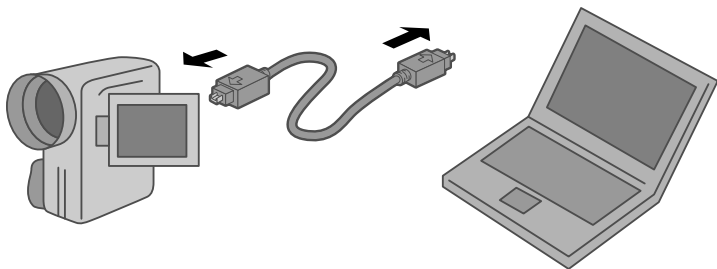
作成・編集したデータを保存していない場合は、［名前を付けて保存］画面が表示されますので、保存場所とファイル名を指定してください。
保存したデータを「プロジェクトファイル」と呼びます。プロジェクトファイルは、あとから呼び出して、再編集することができます。プロジェクトファイルの呼び出し方法は、手順 9 の「役立つ操作集」を確認してください。

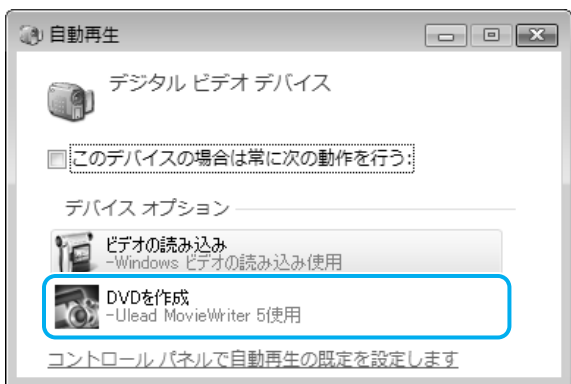
メモ

- 「DVD MovieWriter」のヘルプの起動方法は、「本節 1 DVDを作成する準備」を参照してください。

3 デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする

ここでは、デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンに取り込む方法を説明します。

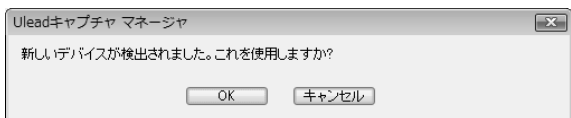
1 デジタルビデオカメラをパソコンに接続し、電源を入れる

参照 デジタルビデオカメラの接続と電源の入れかた
『デジタルビデオカメラに付属の説明書』

2 [DVDを作成 -Ulead MovieWriter 使用]をクリックする

メモ

- HDV規格対応ビデオカメラをHDVの録画規格に設定して接続した場合は、[自動再生]画面は表示されません。次のように操作してください。
  ①「DVD MovieWriter」を起動し、作成するDVDのタイプを選択する
  「本節 2 映像ファイルをDVDにする」の手順 2 から 4 と同じ操作を行ってください。
  ②[ビデオ装置からビデオをキャプチャ]をクリックする

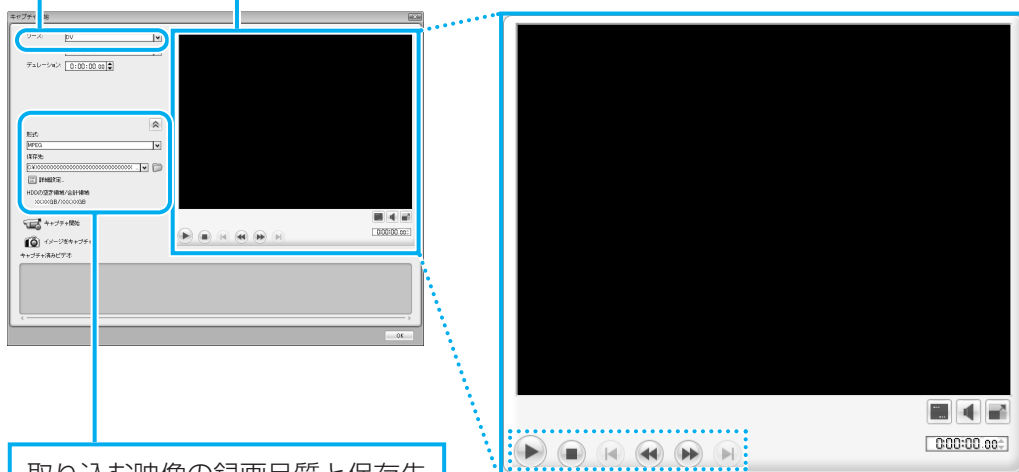
「DVD MovieWriter」が起動します。

■はじめて接続した場合

「DVD MovieWriter」起動後にはじめてデジタルビデオカメラを接続した場合、[Uleadキャプチャ マネージャ]画面が表示される場合があります。

[OK]をクリックしてください。

3 取り込む映像の設定をする

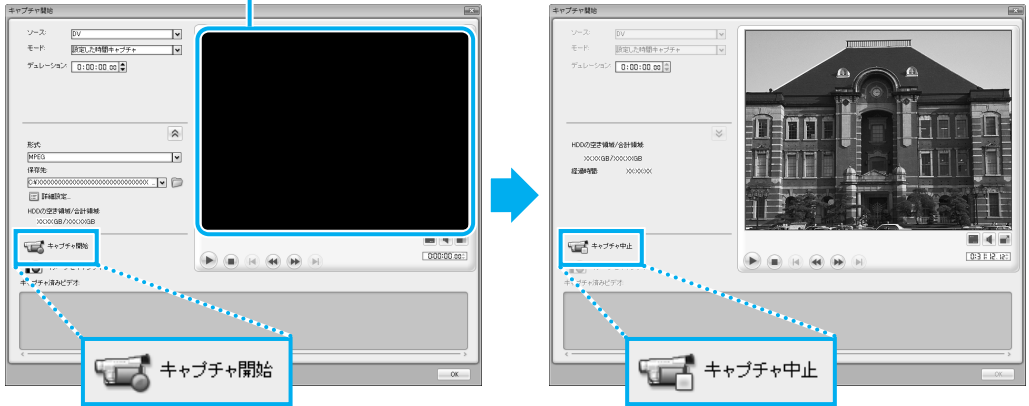
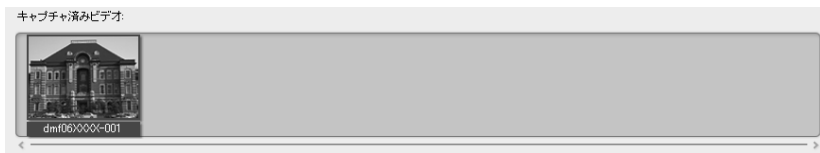
［ソース］
デジタルビデオカメラの場合は［DV］、HDV規格対応ビデオカメラの場合は［HDV］を選択してください。

［ナビゲーションコントロール］
映像の再生や停止、録画などを操作する画面です。

取り込む映像の録画品質と保存先を設定できます。
これらが表示されていない場合は、［高度なキャプチャ設定を表示/非表示］ボタン（ ）をクリックしてください。

［形式］で次の録画品質を設定できます。HDV規格対応ビデオカメラの場合は、「MPEG」のみ設定できます。

- DVD-HQ（品質高）720×480 7.2Mbps
- DVD-GQ（品質良）720×480 5.5Mbps
- DVD-SP（標準再生）352×480 3.6Mbps
- DVD-LP（長時間再生）352×480 2.4Mbps
- DVD-EP（拡張再生）352×480 1.6Mbps
- MPEG
- AVI

①録画開始位置を確認する
［再生（一時停止）］、［停止］、［早送り］、［先送り］の各ボタンを操作してデジタルビデオカメラの映像を［ナビゲーションコントロール］に表示することができます。
録画を始めるところまで再生したら、［停止］または［一時停止］ボタンをクリックしてください。

4 映像を取り込む

「キャプチャ済みビデオ」に映像ファイルが表示され、映像が取り込まれました。

複数のテープから映像を取り込みたい場合は、テープを入れ替えて手順 3 ～ 4 をくり返してください。

5 デジタルビデオカメラの電源を切り、パソコンと接続しているケーブルを取りはずす

6 [OK]をクリックする

［ソースを選択してインポート（ステップ：1/3）］画面に切り替わります。
以降の操作は、「本節 2 映像ファイルをDVDにする」の手順 7 に進んでください。

メモ

- 「DVD MovieWriter」のヘルプの起動方法は、「本節 1 DVDを作成する準備」を参照してください。

「Ulead DVD MovieWriter for TOSHIBA」のお問い合わせ先

コーレル株式会社 インタービデオ テクニカルサポート

お問い合わせの前にホームページ
（http://www.intervideo.co.jp/support/faq/dmwt/dmwt.html）をご確認ください。
当製品の無償サポート期間は、ご購入後1年間となります。

TEL　：045-226-3899
FAX　：045-226-3895
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/
E-mail　：techsupp@intervideo.co.jp
受付時間　：月～金　10:00～12:00、13:30～17:30
（12:00～13:30、土日祝祭日、ならびに弊社指定休業日を除く）

3 音楽を聴く

本製品で音楽CDを聴くためには、「BeatJam（ビートジャム）」[*1]や「Windows Media Player（ウィンドウズ メディア プレーヤ）」[*2]を使います。

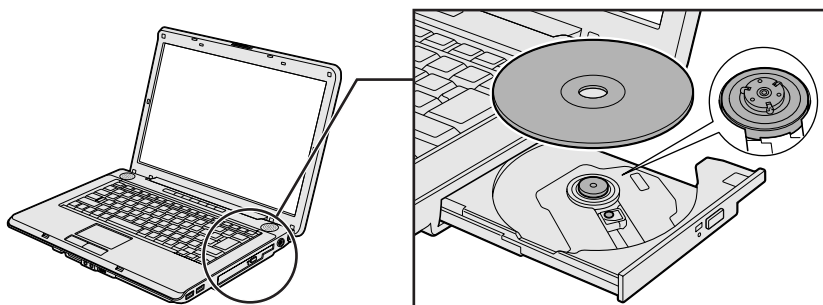
＊1 BeatJam搭載モデルのみ

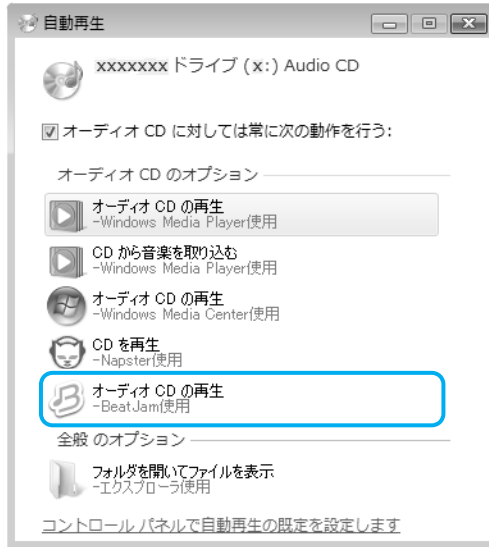
＊2「Windows Media Player」の操作方法はヘルプを参照してください。
［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Windows Media Player］をクリックして起動し、各メニューで［▼］をクリックし、［XXXXについてのヘルプ］をクリックすると表示されます。

「BeatJam」では、音楽CDを聴いたり、音楽ファイルを作ったり、好きな音楽ファイルをまとめて1つのリストを作ることもできます。
ここでは、「BeatJam」の基本的な使いかたを説明します。

1 音楽CDを聴く（BeatJam）

ここでは、音楽CDを聴く方法を説明します。ドライブに音楽CDをセットするだけで、「BeatJam」を起動することができます。

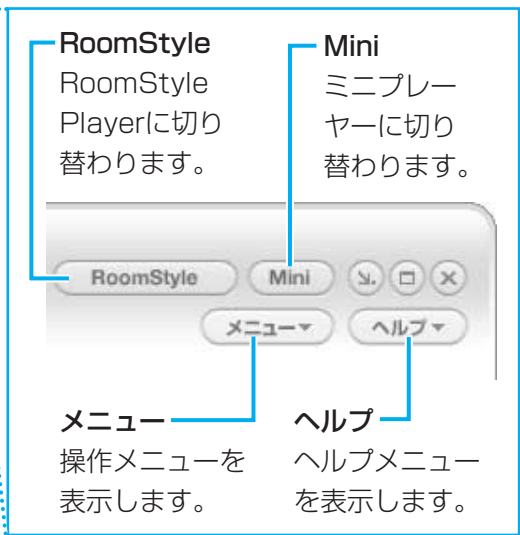
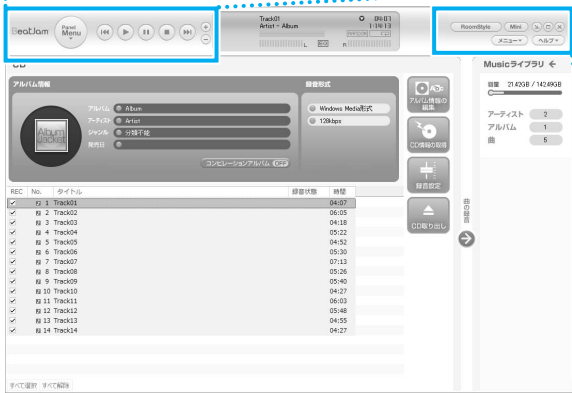
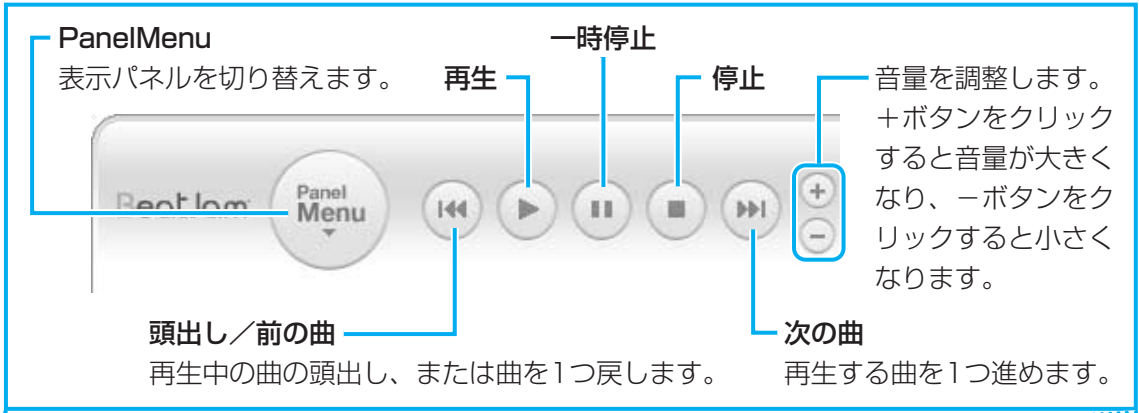
1 ドライブに音楽CDをセットする

2 ［オーディオCDの再生 - BeatJam使用］をクリックする

［オーディオCDに対しては常に次の動作を行う］にチェックがついている状態で、［オーディオCDの再生-BeatJam使用］をクリックすると、次回以降は音楽CDをセットすると自動的に「BeatJam」が起動します。

（表示例）

初めて起動したときは、［使用許諾契約の確認］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。次に「バックアップツール」についての画面が表示されます。内容を確認後、［OK］ボタンをクリックしてください。続けて、ユーザ登録をおすすめする画面が表示されます。この方法でユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。ユーザ登録を行う場合は、［今すぐ登録］ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。後でユーザ登録を行う場合は、［閉じる］ボタンをクリックしてください。

3 音楽を聴く

自動的にCDの1曲目から再生されます。
画面に用意されている各ボタンで操作してください。

CDパネルの操作画面

それぞれの詳細は、［ヘルプ］ボタンをクリックして、「BeatJam」のヘルプをご覧ください。

役立つ操作集

ミニプレーヤー
［Mini］ボタン（ Mini ）をクリックすると、ミニプレーヤーに切り替わります。
操作ボタンや音量調節など、音楽を聴くための機能を集約した画面です。

3 音楽を聴く

メモ

- 「BeatJam」が起動しなかったときは、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［BeatJam］→［BeatJam］をクリックしてください。
- 音楽ファイルを好きな順番に並べてまとめ、自分だけの演奏リストを作成できます。これを「プレイリスト」と呼びます。

  参照 プレイリスト《おたすけナビ（さくいん）：再生する順番を決める》
- 「CD/DVD静音ユーティリティ」を使って、音楽CDを聴くときに、ドライブの動作音を小さくすることができます。

  参照 CD/DVD静音ユーティリティ 《おたすけナビ（さくいん）：CD/DVD静音ユーティリティ》

「BeatJam」「RoomStylePlayer」のお問い合わせ先

●ユーザー登録に関するお問い合わせ

ユーザー登録ご相談窓口

受付時間　　：平日 10:00〜19:00　土・日・祝日 10:00〜17:00（特別休業日を除く）
TEL　　　　：東京 03-5412-2624　大阪 06-6886-2624
ホームページ：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ

ジャストシステムサポートセンター

＊サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。

受付時間　　：平日 10:00〜19:00　土・日・祝日 10:00〜17:00（特別休業日を除く）
TEL　　　　：東京 03-5412-3980　大阪 06-6886-7160
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

4 オリジナル音楽CDを作る

オリジナルの音楽CDを作るには、「TOSHIBA Disc Creator（トウシバ ディスク クリエイタ）」を使います。パソコンに音楽CDから曲を取り込んで、好きな曲を1つのCDにまとめることができます。

オリジナル音楽CDを作るには、CD-RW、CD-Rを使います。推奨するメーカのCDを用意してください。

参照 推奨するメーカ『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』

作成したCD-RWは、再生機器によっては、再生できないことがあります。

メモ

- 音楽CDを作る前に、「7 - 4 CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」をよくお読みください。

1 オリジナル音楽CDを作る

操作の流れ

操作は次の流れで行います。

音楽CDから音楽ファイルをパソコンに取り込む

▼

音楽ファイルの曲順を入れ替える

▼

CDに書き込む

本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

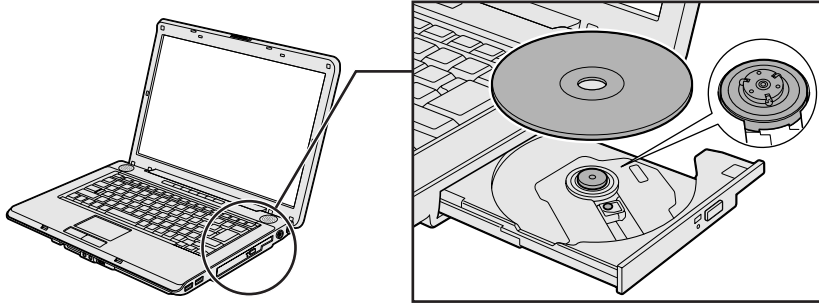
参照 「巻頭 6 著作権について」

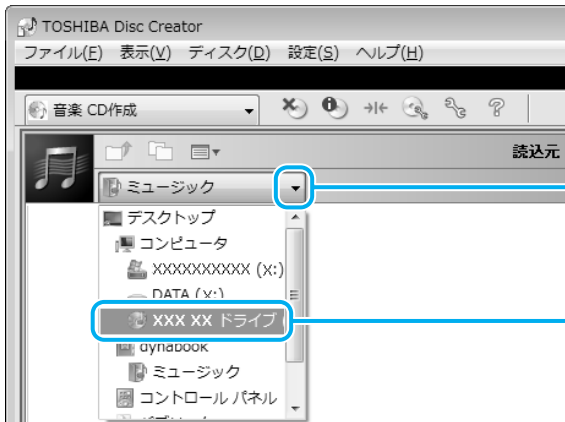
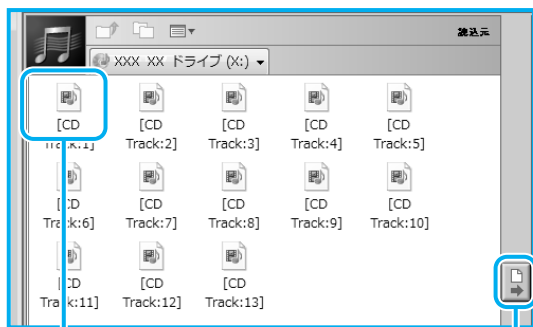
音楽ファイルを取り込む

1 [スタート] ボタン（ ）→ [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [CD&DVDアプリケーション] → [Disc Creator] をクリックする

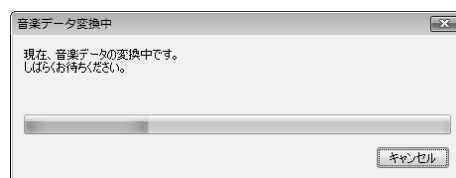
2 [音楽CD作成] をクリックする

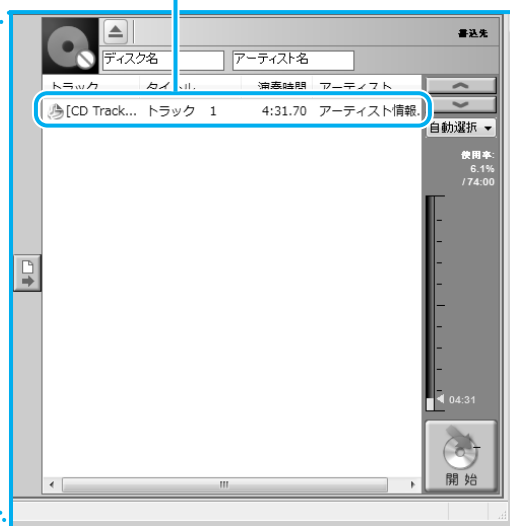
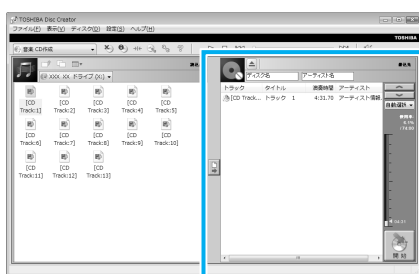
手順 **2** のあと音楽CDの情報をインターネットから取得するための「Windows Media Player」の設定に関する画面が表示される場合があります。必要に応じて「Windows Media Player」の設定を行ってください。設定方法については、「Windows Media Player」のヘルプを参照してください。

3 ドライブに音楽CDをセットする

［自動再生］画面が表示された場合は［閉じる］ボタン（ ）をクリックしてください。

4 ドライブを選択する

5 書き込みたい曲（トラック）を選択する

① 曲を選択する

曲は、「Track」と表示されます。
曲を複数選択したい場合は、
CTRL キーを押したまま目的の
曲をクリックしてください。

② [書き込み先にデータを追加する]
をクリック

選択した曲を、いったんパソコンのハードディスクに取り込みます。取り込みの進捗状態が表示されます。

書き込む曲の一覧

6 音楽CDを入れ替え、手順 5 をくり返す

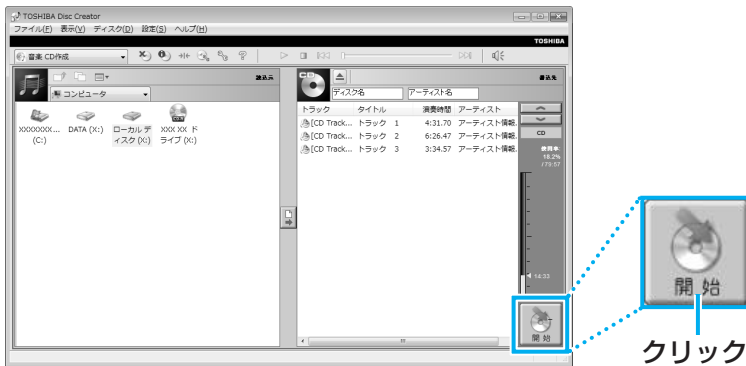
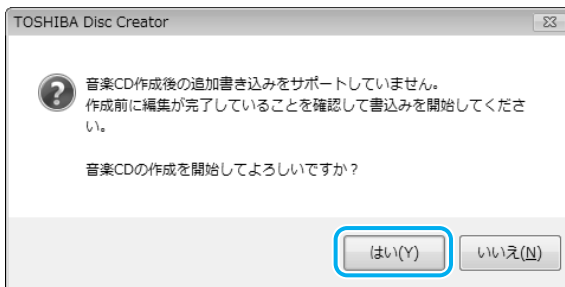
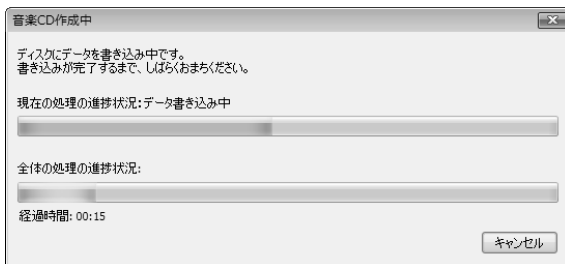
他の音楽CDからも曲を取り込みたい場合に行ってください。

メモ

- 曲順を入れ替えたい場合には、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

CDに書き込む

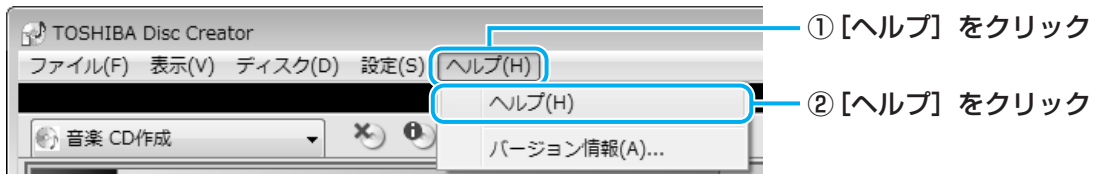
7 ドライブから音楽CDを取り出し、未使用のCD-R、CD-RWまたは消去してよいCD-RWをセットする

8 ［開始］ボタンをクリックする

9 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

書き込み中は、次の画面が表示されます。

CDの書き込みが終了すると、自動的にディスクが半分くらい出てきます。

10 ［いいえ］ボタンをクリックする

さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、未使用のCD-Rと入れ替えて、［はい］ボタンをクリックしてください。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Disc Creator」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

「TOSHIBA Disc Creator」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口受付時間：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

5 デジタルカメラの写真を見る

デジタルカメラで撮った写真などの画像を閲覧するには、「Corel（コーレル） Snapfire（スナップファイアー） Plus（プラス） SE（エスイー）」を使用します。スライドショー形式で見ることができたり、画像に情報を加えて管理しやすくすることもできます。

1 写真を見る

ここでは、デジタルカメラで撮った写真などの、画像を見る場合の手順について説明します。

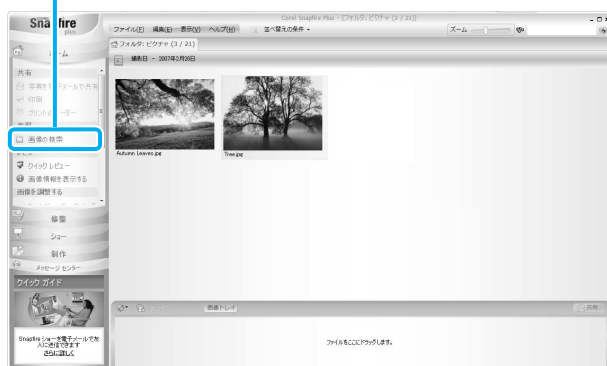
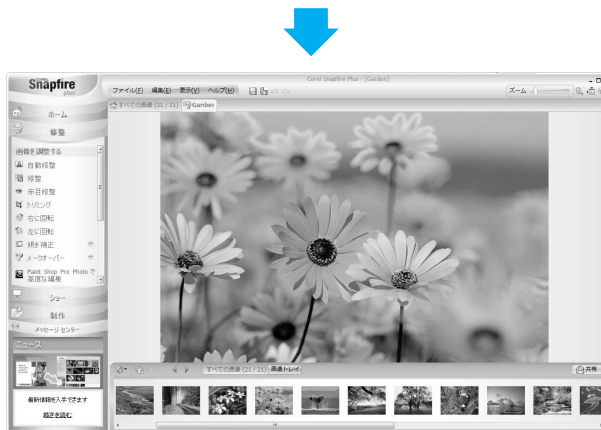
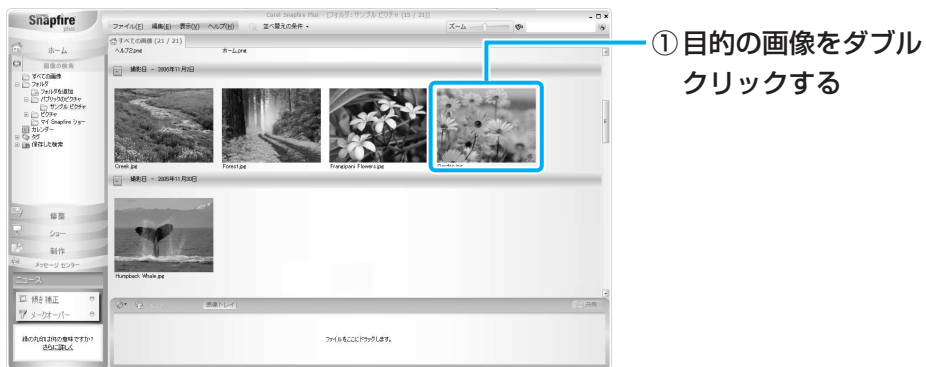
1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Corel Snapfire Plus］→［Corel Snapfire Plus］をクリックする

「Corel Snapfire Plus」が起動します。

「Corel Snapfire Plus」では、すべての画像を一覧できるほか、フォルダ、撮影日、タグごとなどに分けて管理することができます。
初めて起動したときは、［ライセンス契約書］画面が表示されます。
使用許諾契約に同意のうえ、［承認］ボタンをクリックしてください。

2 画像が管理されているカテゴリを選択する

ここでは、パソコン本体に保存されているすべての画像を一覧表示します。

① ［画像の検索］をクリックする

3 目的の画像を拡大表示する

拡大表示画面に切り替わります。

続けて次の画像を拡大表示したい場合は、画面下部の［次の画像の選択］ボタン（▶）をクリックしてください。

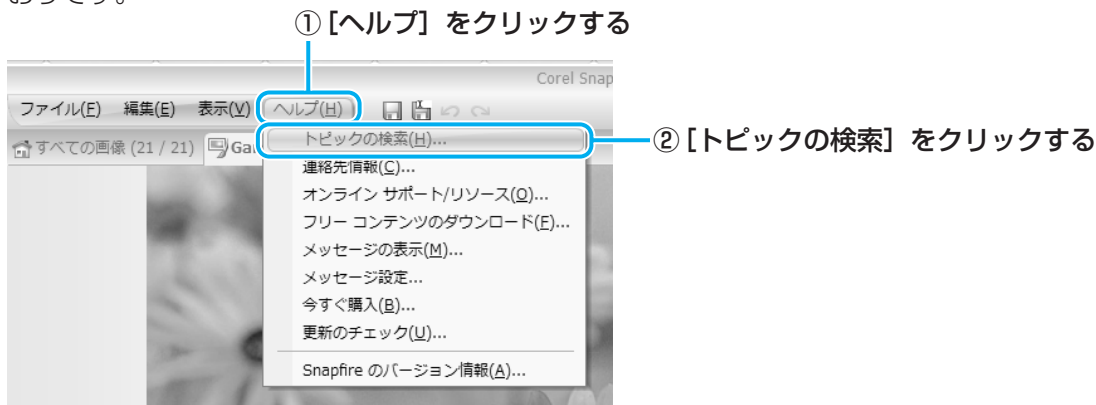
メモ

- 画像の表示や検索の他にも、画像の色や明るさなどを調整したり、トリミングすることができます。詳細はヘルプを確認してください。

ヘルプの起動方法

「Corel Snapfire Plus」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

①［ヘルプ］をクリックする

②［トピックの検索］をクリックする

「Corel Snapfire Plus ヘルプ」が起動します。

2 写真のデータをCD／DVDにコピーする

本製品に用意されている「TOSHIBA Disc Creator（トウシバ ディスク クリエイタ）」を使用して、デジタルカメラで撮った写真のデータをCD／DVDにコピーすることができます。

参照 データをCD／DVDにコピーする
『準備しよう 4章 2-3 CD／DVD／HD DVDにデータのバックアップをとる』

「Corel Snapfire Plus SE」のお問い合わせ先

◆コーレル テクニカルサポート

無料電話サポート　：初回お問合せ日から90日間のサポート
TEL　：0570-003-002　月曜日～金曜日（祝日を除く）
10:00～12:00　13:30～17:30
無料メールサポート：専用のWEBメールフォームでのサポート
http://www.corel.jp/support/
有料電話サポート　：下記のお客様に対して有料でのサポートを行っています。

・90日間の無料電話サポート期間終了後、引き続き電話でのサポートをご希望の場合
・無料電話サポート期間中、サポートセンターからの電話による時間指定でのサポートをご希望の場合

サポートに関する詳細は弊社サポートページをご覧いただくか、もしくはカスタマーセンターへお問合せください。
http://www.corel.jp/support/

◆コーレル カスタマーセンター

(ご購入前のお問い合わせおよびサービスに関するお問い合わせ窓口)
TEL　：0570-009-002　月曜日～金曜日（祝日を除く）
10:00～12:00　13:30～17:30
コーレル ホームページ　：http://www.corel.jp/

6 Windows Media Centerで映像や音楽を楽しむ

＊Premiumモデルのみ

「Windows（ウィンドウズ） Media（メディア） Center（センター）」は、音楽を聴いたり、写真や映像を見たり、オンデマンドでゲームをしたりというようなさまざまなエンターテイメント機能の入り口を1つにまとめた機能です。

1 Windows Media Centerについて

メモ

- 「Windows Media Center」を使用する前に、「7-7「Windows Media Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

1 起動方法

1 ［スタート］ボタン（ ）→［Widows Media Center］をクリックする

「Windows Media Center」が起動します。

初めて起動したときは、［ようこそ］画面が表示されます。画面の指示に従ってセットアップを行ってください。なお、後からセットアップを行うこともできます。
セットアップが終了すると、「Windows Media Center」のメインメニューが表示されます。

Windows Media Centerの画面について

画面上部のボタンやトランスポート コントロールは、画面にポインタを合わせると表示されます。

トランスポート コントロール

再生／一時停止、停止、前の項目に戻る、次の項目に進む、音量調整などが操作できます。

メインメニューについて

メインメニューの項目は次のとおりです。

ピクチャ・ビデオ	フォルダに保存してある写真やデジタルビデオなどから取り込んだ映像を見ることができます。
ミュージック	音楽CDを聴いたり、音楽ファイルを再生することができます。
HD DVD	＊ HD DVD-ROMドライブモデルのみ 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を起動して、HD DVDを再生することができます。
メディア オンライン	「メディア オンライン」という専用サイトに用意されているプログラム（音楽・映画・ゲームなど）を利用することができます。
タスク	パソコンのシャットダウンやCD／DVDへの書き込みを行ったり、「Windows Media Center」の各種設定を行うことができます。

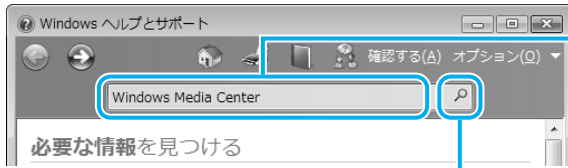
＊本製品では、「Windows Media Center」のテレビ機能はお使いになれません。

メインメニューで目的の項目をクリックすると、サブメニューに実行できる項目が表示されます。表示された項目の中からさらに目的の項目をクリックしてください。
各項目の画面が表示されます。

ヘルプの起動方法

「Windows Media Center」についての詳細は、『ヘルプとサポート』を確認してください。
起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］ボタン（ ）→［ヘルプとサポート］をクリックする

2 知りたいことを検索する

①知りたい内容を入力する
ここでは例として「Windows Media Center」と入力します。

②［ヘルプの検索］をクリック

「Windows Media Center」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号　　：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
技術相談窓口受付時間：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

7 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 HD DVD再生機能について

- HD DVDは新技術を利用した新規格です。ディスク、その他のデジタル機器との接続、その他の互換性、動作に何らかの問題が生じる可能性があります。HD DVD-ROMロゴは、ドライブがHD DVDの物理規格に対応していることを表すものであり、HD DVDビデオの規格に対応していることを表すものではありません。本機は、DVDフォーラムの規格の定めるHD DVDのビデオ規格のアドバンスト機能のうち、ピクチャーインピクチャー等の機能には対応しておりません。HD DVDのコンテンツによっては、画面の動きがスムーズでなくなる場合や、パフォーマンスが落ちる場合があります。
- 本機のHD DVD再生機能は次世代著作権保護技術AACS（Advanced Access Content System）に対応しています。AACSキーは定期的に更新が必要です。AACSキーを更新しないと、AACSで保護されたHD DVDコンテンツを再生することはできません。
  なお、更新は無償で行えます。更新の際にはインターネット接続が必要です。
  DVDコンテンツやAACSで保護されていないHD DVDコンテンツは、AACSキーの更新をしなくても再生が可能です。
- HD DVD再生機能はコンテンツ内蔵のプログラムに従って作動しますので、コンテンツによって、操作方法、操作時の画面、効果音、アイコンなどの機能・動作は、それぞれ異なる場合があります。これらの詳細は、コンテンツに添付されている取扱説明書を参照されるか、発売メーカーに直接お問い合わせください。

2 HD DVDの再生にあたって

本項では、「HD DVD」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、HD DVDビデオディスクを示します。

HD DVDについて

- HD DVDの再生には、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を使用してください。「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してHD DVDの再生はできません。
- HD DVDの再生を開始するまでに、時間がかかる場合があります。

使用時について

- タイトルによっては、コマ落ちや音声の音飛び、または映像と音声のずれ（同期ずれ）が発生する場合があります。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」ご利用時には、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中に他のアプリケーションを起動させるなど、他の操作は行わないでください。正常な再生ができない場合や再生が停止する場合があります。

- 他のアプリケーションで映像の再生中は、HD DVDを再生しないでください。HD DVDの再生が正しく動作しない場合があります。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」では、再生するタイトルによってレジューム機能による再生ができない場合があります。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」ご利用時には、必ずACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」は「電源オプション」の電源プランを「高パフォーマンス」に設定してご使用ください。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」で映像の再生中は、スクリーンセーバは起動しません。また自動的に休止状態、スリープやシャットダウンの状態には移行しません。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」起動中に表示自動停止機能が動作するように「電源オプション」で設定しないでください。

参照 電源オプションについて《おたすけナビ（さくいん）：省電力の設定をする》

- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」の起動中はWindows Aero機能が無効となります。

表示装置・音声について

- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」は、コントロールパネルの［画面の設定］で［画面の色］が「最高（32ビット)」の場合のみ動作します。［画面の設定］は次の手順で起動できます。
  ①［スタート］ボタン→［コントロールパネル］をクリックする
  ②［デスクトップのカスタマイズ］→［個人設定］→［画面の設定］をクリックする
- HD DVDの映像は、本体液晶ディスプレイにのみ表示できます。S-Video出力コネクタに接続したテレビや、RGBコネクタに接続した外部ディスプレイには、表示させることはできません。また、本体液晶ディスプレイとの同時表示（クローン表示、拡張表示）はできません。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」起動中に解像度の変更を行わないでください。
- S/PDIF出力された音声の録音はできません。
- 48kHz/16bit以上の形式で収録された音声データは48kHz/16bitに変換されます。

「TOSHIBA HD DVD PLAYER」について

- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」は、HD DVDビデオディスク、DVD-VideoおよびDVD-VRディスクの再生ができます。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」では、パレンタルコントロール（視聴制限）の機能はありません。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」の起動中は著作権保護のためにWindowsの画面コピー機能が無効となります（「TOSHIBA HD DVD PLAYER」以外のアプリケーションを使用している場合や、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を最小化しているときなども無効です）。画面コピー機能をご使用になるときは、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を終了してください。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」のインストール・アンインストールをする場合は、コンピュータ管理者のユーザで行ってください。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」起動中にWindowsユーザの切り替えを行わないでください。
- タイトルによっては、コントロールウィンドウに表示されるタイトルの再生時間（再生位置）が総時間に到達する前に次のタイトルに進む場合があります。

● タイトルによっては、コントロールウィンドウで音声の切り替えを行うと、字幕も切り替わる場合があります。
● 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を継続して使用するには、定期的なアップデートが必要となります。

アップデート方法

「TOSHIBA HD DVD PLAYER」のアップデート情報については、弊社ホームページ「dynabook.com」の「サポート情報」でお知らせします。
URL：http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

お問い合わせ先

「TOSHIBA HD DVD PLAYER」のお問い合わせは、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）へお願いいたします。

3 DVD-Videoの再生にあたって

● 使用するDVDディスクのタイトルによっては、コマ落ちする場合があります。
● 家庭用DVDレコーダで録画した、ファイナライズされていないDVDはパソコンで再生できない場合があります。
● DVD-Videoの再生には、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。
「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。このようなときは、「TOSHIBA DVD PLAYER」を起動し、DVD-Videoを再生してください。
● DVD-Video再生ソフト「TOSHIBA DVD PLAYER」では、DVD-VideoとDVD-R（-VRモード）の再生ができます。Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
● DVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができないことがあります。バッテリ駆動で再生するときは電源プランで「バランス」を選択してください。
● DVD-Videoを再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
● Region（リージョン）コードは4回まで変更することができますが、通常は出荷時のままご利用ください。
出荷時の状態では、Regionコードが「2」に設定されておりますので、Regionコードが「2」または「ALL」のDVD-Videoをご使用ください。
● 外部ディスプレイまたはテレビに表示するときは、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、クローン表示設定でDVD-Videoを再生することはできません。

参照 表示装置の切り替え『いろいろな機能を使おう 3章 周辺機器を使って機能を広げよう』

● 拡張表示（Extended Desktop）でDVD-Videoを再生した場合、外部ディスプレイ側のDVD-Video再生画像が表示されないことがあります。その際はいったん再生を終了し、外部ディスプレイ側の解像度、リフレッシュレートや色数を下げてご使用ください。

その他の注意については、「TOSHIBA DVD PLAYER ヘルプ」に記載しています。
「TOSHIBA DVD PLAYER ヘルプ」の起動は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA DVD PLAYER］→［TOSHIBA DVD PLAYER ヘルプ］をクリックしてください。

4 CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて

＊HD DVDに書き込むことはできません。

CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込み／書き出しに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込み／書き出しに失敗することがあります。

■CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うにあたって

- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、電源オフ／スリープ／休止状態／再起動を実行しないでください。

参照 省電力の設定について《おたすけナビ（さくいん）：省電力の設定をする》

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  - ・音楽CD／DVDの再生アプリケーション
  - ・スクリーンセーバ
  - ・ウイルスチェックソフト
  - ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  - ・モデムなどの通信アプリケーション　など

  ソフトウェアによっては動作の不安定やデータの破損の原因となるので、使用しないことを推奨します。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作は行わないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  USB対応機器、テレビ、外部ディスプレイ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、SDHCメモリカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード、ExpressCard
- パソコン本体から、携帯電話および他の無線通信装置を離してください。
- SDメモリカード、SDHCメモリカード、USB接続などのハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。
- CD／DVDに書き込みを行うときは、市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。
- CD／DVDに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rに書き込むときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。

■作成したDVDについて

- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディア、DVD-R DLメディアを再生するときは、それぞれのメディアの読み取りに対応している機器を使用してください。
- 作成したDVDを本製品で再生するときは、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

■映像データをDVDに書き込む前に

- DVDに書き込みを行うときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨されるメディアを使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。
- 本製品に付属の「DVD MovieWriter」以外の映像データライティングソフトウェアは動作保証していません。

■「DVD MovieWriter」のムービー作成について

- ムービー作成では-VRフォーマット、+VRフォーマットでの書き込みはできません。
- DVD-AudioやVideo CD、miniDVDを作成することはできません。
- DVDへ書き込みを行うには、映像データのサイズの約2.5倍以上の空き容量がハードディスクに必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。使用する映像ファイルや編集のしかたによって、必要な空き容量が異なります。
- DVDに映像データを書き込む場合、映像データの大きさや編集のしかたによってはデータの変換に数時間かかることがあります。

5 「DVD MovieWriter」の使用にあたって

- 「DVD MovieWriter」はコンピュータの管理者アカウントで使用してください。
- 本製品にインストールされていない、その他の映像データを取り込むソフトウェアは使用しないでください。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」などの映像を再生するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示されないことがあります。編集中は他のアプリケーションを終了してください。
- 編集中のプレビューは本体液晶ディスプレイにのみ表示されます。外部ディスプレイには表示されません。
- 著作権保護された映像が保存されているDVDの映像の編集は行えません。
- 著作権保護されているコンテンツは再生できません。
- 「DVD MovieWriter」の動作中は、画像の解像度・色数の変更は行わないでください。
- 「DVD MovieWriter」では、ソース（映像ファイル）のビットレートによっては、1枚に圧縮できない場合があります。
- [Ulead Label@Once] 画面でのDVDラベルの作成は、必ずレーベル面に直接印刷できるプリンタとメディアをご利用ください。市販のラベルシールを貼付したDVDをご利用になると、ドライブの故障の原因になります。市販のラベルシールは使用しないでください。

6 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために

使用できるメディアについては、『準備しよう 4章 大切なデータを失わないために』の「TOSHIBA Disc Creator」にあてはまる部分をご覧ください。

- 本製品に付属している「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-Video、DVD-Audioを作成することはできません。
- 「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-RAMにデータを書き込むことはできません。

■データCD／DVDを作るにあたって

- 「TOSHIBA Disc Creator」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。

  ①「TOSHIBA Disc Creator」を起動し、［データディスク作成］をクリックする

  ②［ディスク作成モードの設定ダイアログ］ボタン（ ）をクリックする

  ［データディスク設定］画面が表示されます。

  ③［データチェック］の「書き込み後にデータをチェックする」と「詳細チェック」をチェックする

  ④［OK］ボタンをクリックする

7 「Windows Media Center」の使用にあたって

▼Premiumモデルのみ

- 「Windows Media Center」を起動する前に、他のアプリケーションを終了させてください。起動中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。

▲Premiumモデルのみ

さくいん

B

C

D

T

W

エ

オ

シ

テ

東芝PCあんしんサポート

技術的なご質問、お問い合わせ、修理のご依頼をお受けいたします。

全国共通電話番号 **0120-97-1048**（通話料･電話サポート料無料）

おかけいただくと、アナウンスが流れます。

アナウンスに従ってご希望の窓口に該当する番号をプッシュしてください。

電話番号は、お間違えのないよう、ご確認の上おかけください。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

技術相談窓口受付時間：9：00～19：00（年中無休）
修理相談窓口受付時間：9：00～22：00（年末年始12/31～1/3を除く）

インターネットもご利用ください。

▼お問い合わせの多い質問をインターネットでご紹介 **「よくあるご質問FAQ」**

http://dynabook.com/assistpc/index_ j.htm

▼専用フォームからお問い合わせ **「東芝PCオンライン」**

よくあるご質問（FAQ）で問題が解決しないときはアンケートにお答えいただき、専用フォームから文書でお問い合わせください。※ご利用にはお客様登録が必要です。

▼インターネットで修理のお申し込み

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。
日程は、dynabook.com「サポート情報」→「東芝PCあんしんサポート」（http://dynabook.com/assistpc/anshin/index_j.htm）上にてお知らせいたします。

お問い合わせの詳細につきましては、『東芝PCサポートのご案内』をご参照ください。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

dynabook 映像と音楽を楽しもう

平成19年7月10日　第1版発行　GX1C000BZ810

発行　株式会社 東芝 PC&ネットワーク社

PC第一事業部　〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

PRINTED WITH SOYINK™ この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

東芝PC総合情報サイト

http://dynabook.com/

株式会社 東芝 PC&ネットワーク社

PC第一事業部　〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

GX1C000BZ810
Printed in China